

# nms ホールディングス株式会社

## 2024年3月期 第2四半期連結累計期間 決算概要

- 中国やASEANを中心としたお客様の在庫調整による影響があったものの、これまで実行してきたコスト構造改革や基盤強化策の効果もあり、全体として業績は堅調に推移
- 減産影響に加え、生産量回復に向けた部材調達等の増加により、第2四半期の売上高・営業利益は、第1四半期に対し減少したものの、想定どおりであり、第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期に対し増収増益
- 営業利益の改善に加え、為替差益（760百万円）計上もあり、経常利益、四半期純利益とも大幅に増加

(単位：百万円)	2023年3月期 第2四半期 累計期間実績※	2024年3月期 第2四半期累計期間 実績				備考
		第1四半期	第2四半期	累計	前年同期比	
売上高	35,818	18,565	17,709	36,274	1.3%	【営業外損益】 営業外収益 829百万円 （前年同期比 54百万円減） 営業外費用 437百万円 （前年同期比 214百万円増）  【特別損益】 特別利益 0.9百万円 特別損失 1百万円
営業利益	△155	483	14	498	+653	
経常利益	505	698	191	889	+383	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	208	496	63	560	+351	
1株当たり 四半期純利益（円）	13.39	31.93	4.10	36.03	+22.64	
EBITDA	533	842	386	1,229	+695	

※前連結会計年度において、米国会計基準を採用している在外子会社は、米国会計基準ASU第2016-02号「リース」（以下、「本基準」という。）を適用しております。本基準の適用に当たっては、経過的な取扱いに従い、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しており、本基準の適用となる北米EMS事業のリース資産について減損の検討を行った結果測定された減損損失額を、前連結会計年度の期首利益剰余金に計上しております。四半期連結会計期間については当連結会計年度から適用しているため、会計方針の変更に伴う減損損失を前連結会計年度の期首利益剰余金に計上した結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の第2四半期連結損益計算書における売上原価が81,468千円減少、営業損失及びEMS事業のセグメント損失が同額減少し、1株当たり四半期純利益が5円08銭増加しております。本資料における2023年3月期第2四半期累計期間実績は、これらの影響を反映した実績を記載しております。

# ■ 2024年3月期 通期業績予想 (23年10月30日公表)

- 前下期にあった挽回生産のあおりによるお客様の在庫調整に加え、米国および欧州経済における金融引き締めの影響や、最終需要減少によるお客様の減産等の影響もあり、売上高は前年同期に対し減収となる見通し
- 一方、営業利益は、これまで実行してきた事業構造改革の効果定着や、さらなる固定費の削減、また、製造現場において生産ラインの自動化による生産性改善等、基盤強化施策の実効が上がっており、増益となる見通し
- 経常利益も、営業利益の増加と為替差益の発生により増益となる見込みであり、当期純利益についても、営業利益および経常利益の増加により、増益を予想
- 世界経済の動向は、先行き不透明な状況が続く様相だが、製造業における労働力不足や、国内および海外における機動的な生産体制構築、エネルギー関連製品需要の高まりなど、いずれも当社グループの好機につながるものであり、来期につながる取り組みを着実に進め、中期経営計画の達成に向かう

(単位：百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想 (23年10月30日公表)	2023年3月期 実績比
売上高	63,277	79,033	77,000	△2.6%
営業利益	△361	1,537	1,850	+312
経常利益	122	1,426	1,500	+73
親会社株主に帰属する 当期純利益	△1,980	505	800	+294
1株当たり 当期純利益 (円)	△121.17	32.52	51.47	+18.95

# ■ セグメント別業績ハイライト

(単位：百万円)		2023年3月期 第2四半期 累計期間実績※	2024年3月期 第2四半期累計期間 実績				前年同期比	主なポイント
			第1四半期	第2四半期	累計			
HS事業	売上高	11,507	5,761	5,655	11,416	△0.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内は、自動車・半導体関連を中心としたお客様の生産調整があったものの、需要は総じて堅調に推移</li> <li>海外は在庫調整等による減産の影響や新規受注獲得による教育費用の増加等、利益圧迫要因があり、全体として減収減益</li> </ul>	
	セグメント利益	470	196	231	427	△42		
EMS事業	売上高	17,010	9,118	8,228	17,347	2.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略投資における新規受注の立ち上げや量産開始による生産数量の増加等、事業規模拡大効果もあり増収</li> <li>利益面でも、生産調整影響があったものの、各拠点における生産性改善やコスト構造改革の成果もあり大幅に改善</li> </ul>	
	セグメント利益	△179	242	△107	134	+313		
PS事業	売上高	7,300	3,685	3,824	7,510	2.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>部品不足によるお客様の生産調整の影響が緩和傾向となったことに加え、需要は高い水準で推移したこともあり増収</li> <li>生産効率向上や部材調達ソースの拡大等、安定した生産活動および収益確保に向けた施策を着実に実行し増収増益</li> </ul>	
	セグメント利益	△194	203	15	219	+414		
調整額	セグメント利益	△252	△159	△124	△283	—	当社（持株会社）に係る全社費用	
合計	売上高	35,818	18,565	17,709	36,274	1.3%	HS事業：ヒューマンソリューション事業 EMS事業：エレクトロニクスマニファクチャリングサービス事業 PS事業：パワーサプライ事業	
	セグメント利益	△155	483	14	498	+653		

※前連結会計年度において、米国会計基準を採用している在外子会社は、米国会計基準ASU第2016-02号「リース」（以下、「本基準」という。）を適用しております。本基準の適用に当たっては、経過的な取扱いに従い、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しており、本基準の適用となる北米EMS事業のリース資産について減損の検討を行った結果測定された減損損失額を、前連結会計年度の期首利益剰余金に計上しております。四半期連結会計期間については当連結会計年度から適用しているため、会計方針の変更に伴う減損損失を前連結会計年度の期首利益剰余金に計上した結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の第2四半期連結損益計算書における売上原価が81,468千円減少、営業損失及びEMS事業のセグメント損失が同額減少し、1株当たり四半期純利益が5円08銭増加しております。本資料における2023年3月期第2四半累計期間実績は、これらの影響を反映した実績を記載しております。

## 売上高

11,416百万円

前年同期比 0.8%減

## セグメント利益

427百万円

前年同期比 9.1%減

【事業母体】

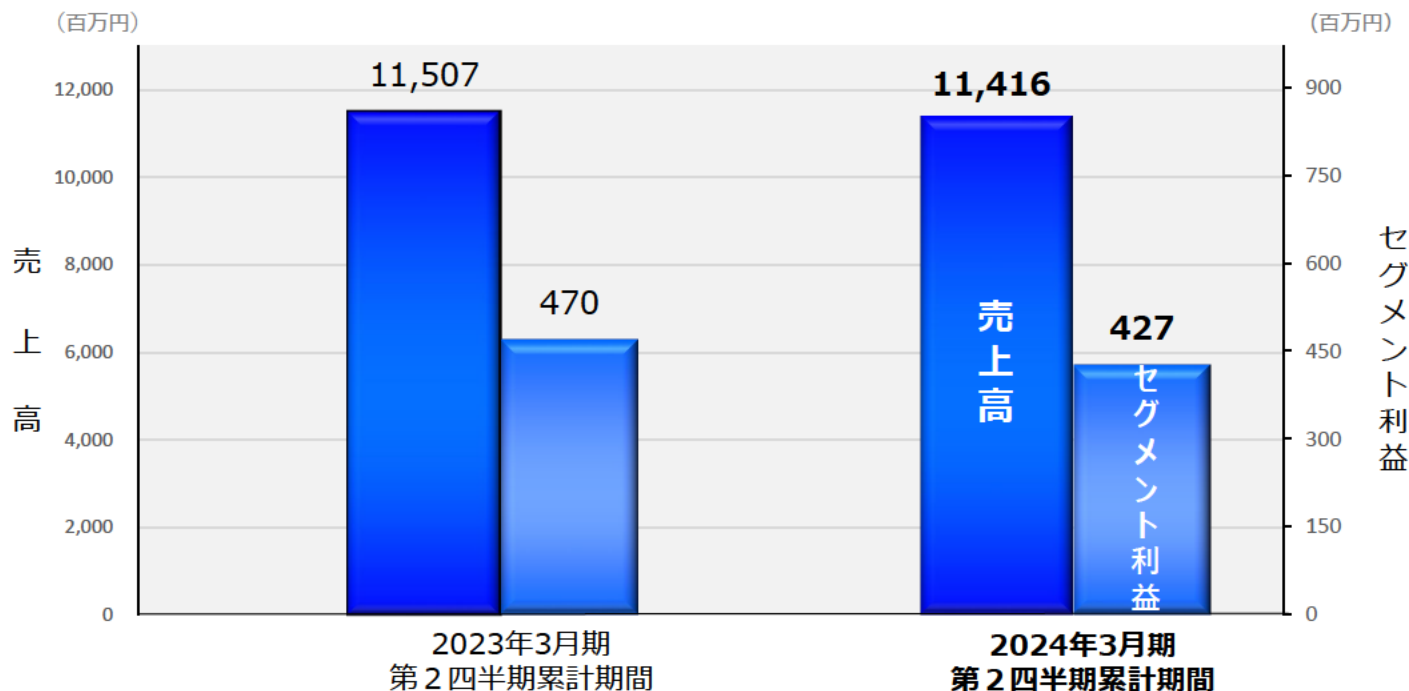
日本マニファクチャリング  
サービスグループ

### 国内

- 自動車・半導体関連を中心としたお客様の生産調整による影響があり売上が抑制されたものの、需要は堅調に推移
- 既存取引における原価率の改善や適正販管費の管理強化等、基盤強化策の実行を進め、収益性の改善に努めた

### 海外

中国においてお客様の在庫調整等による減産の影響やベトナムでの新規受注獲得による教育費用の増加等の影響はあったものの、基盤強化策の効果もあり堅調に推移



## 売上高

17,347百万円

前年同期比 2.0%増

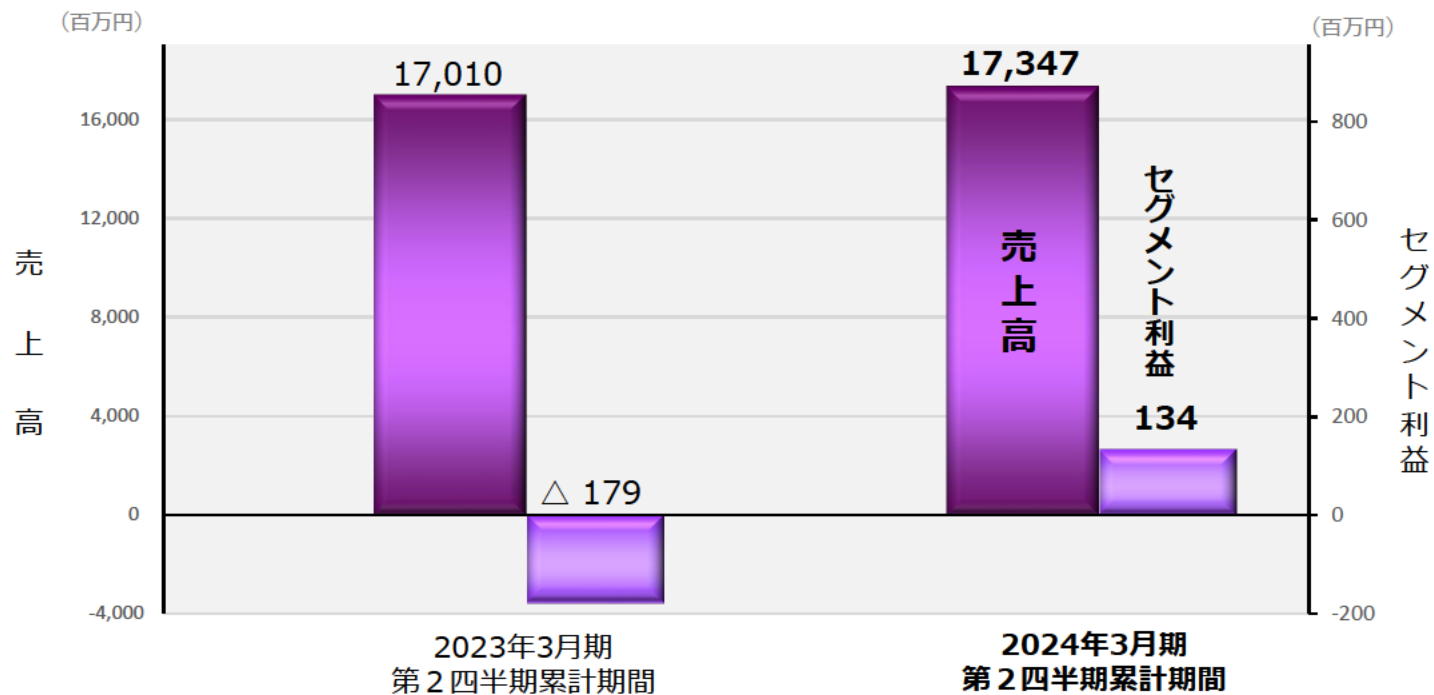
## セグメント利益

134百万円

【事業母体】

TKRグループ

- 中国・ASEAN・北米において生産活動を展開しており、戦略投資における新規受注の立ち上げや量産開始による生産数量の増加等、事業規模拡大効果もあり、前年同期に対し増収
- 利益面では、中国やマレーシアにおけるお客様の生産調整影響があったものの、売上高の増加に加え、各拠点における生産性の改善やコスト構造見直しの成果もあり、大幅に改善
- 北米事業は市場領域拡大を担う重点施策であり、お客様からの引き合いも増えていることから、業績改善に向け基盤強化策の実行を推進



## 売上高

### 7,510百万円

前年同期比 2.9%増

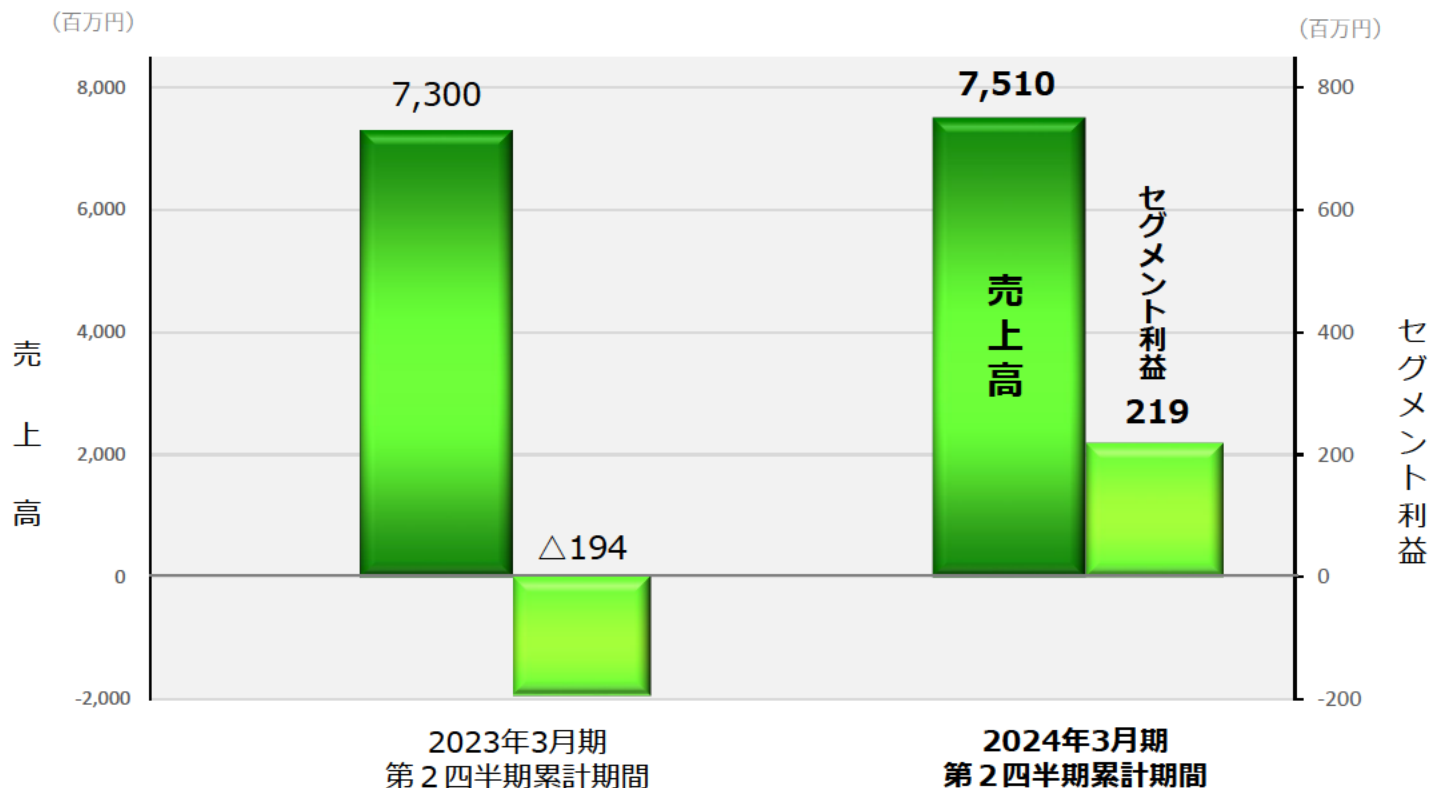
## セグメント利益

### 219百万円

【事業母体】

パワーサプライテクノロジーグループ

- 海外においてお客様における欧州向けの販売不振による影響があったが、中国におけるロックダウンなど感染症影響やサプライチェーンの混乱、部品不足によるお客様の生産調整の影響が緩和傾向となったことに加え、高い水準の需要を維持
- 部材調達ソースの拡大等安定した生産活動および収益確保に向けた施策を着実に実行し、前年同期に対し利益が大幅に改善



## ■ 業績ハイライト (B/S)

(単位：百万円)	2023年3月期 (2023年3月31日)	2024年3月期 第2四半期 (2023年9月30日)	増減
<b>流動資産</b>	30,020	<b>28,274</b>	△1,746
<b>固定資産</b>	8,885	<b>9,523</b>	638
有形固定資産	7,089	<b>7,647</b>	558
無形固定資産	651	<b>651</b>	0
投資その他の資産	1,143	<b>1,224</b>	81
<b>繰延資産</b>	26	<b>19</b>	△6
<b>資産合計</b>	38,932	<b>37,818</b>	△1,113
<b>負債合計</b>	36,417	<b>34,892</b>	△1,524
流動負債	28,519	<b>26,456</b>	△2,062
固定負債	7,898	<b>8,436</b>	538
<b>純資産合計</b>	2,514	<b>2,925</b>	410
<b>負債・純資産合計</b>	38,932	<b>37,818</b>	△1,113

# ■ 業績ハイライト (C/F)

(単位：百万円)		2023年3月期 第2四半期累計期間※	2024年3月期 第2四半期累計期間	主なポイント
税金等調整前四半期純利益		478	889	
減価償却費		689	731	
運転資金の増減		△1,243	1,684	売上債権 1,996 在庫 1,877 仕入債務 △2,189
その他		△706	△983	
営業キャッシュ・フロー		△781	2,322	
固定資産の取得・売却		△1,107	△586	売却収入 1 取得支出 △587
その他		18	△32	
投資キャッシュ・フロー		△1,088	△618	
フリーキャッシュ・フロー		△1,869	1,703	
借入金の増減		718	△789	
配当金支払 他		△275	△286	リース債務返済 △192 配当金 △93
財務キャッシュ・フロー		442	△1,075	
現金及び現金同等物の四半期末残高		4,045	4,247	

※前連結会計年度において、米国会計基準を採用している在外子会社は、米国会計基準ASU第2016-02号「リース」(以下、「本基準」という。)を適用しております。本基準の適用に当たっては、経過的な取扱いに従い、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しており、本基準の適用となる北米EMS事業のリース資産について減損の検討を行った結果測定された減損損失額を、前連結会計年度の期首利益剰余金に計上しております。四半期連結会計期間については当連結会計年度から適用しているため、会計方針の変更に伴う減損損失を前連結会計年度の期首利益剰余金に計上した結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の第2四半期連結損益計算書における売上原価が81,468千円減少、営業損失及びEMS事業のセグメント損失が同額減少し、1株当たり四半期純利益が5円08銭増加しております。本資料における2023年3月期第2四半累計期間実績は、これらの影響を反映した実績を記載しております。



## nms ホールディングス株式会社

<https://www.n-ms.co.jp/>

本社所在地	〒163-1445 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー45階
代表者	代表取締役社長 小野 文明
資本金	5億69万円（2023年9月30日現在）
上場証券取引所	東京証券取引所（スタンダード市場） 証券コード 2162
グループ社員数	12,776名（2023年9月30日現在）
事業内容	ヒューマンソリューション（HS）事業 エレクトロニクスマニファクチャリングサービス（EMS）事業 パワーサプライ（PS）事業 におけるグループ事業統括および経営管理等
連結子会社数	海外19社含む25社（海外9カ国にグローバル展開）
主な連結子会社	日本マニファクチャリングサービス株式会社（HS事業） 株式会社TKR（EMS事業） パワーサプライテクノロジー株式会社（PS事業）

# (参考) これまでの歩み：人材ビジネス+モノづくりで事業拡大

HS事業  
からスタート

海外展開へ

最先端技術の根幹を支える  
アナログ技術に着目

EMS・PS事業を  
M&Aで獲得  
モノづくり分野へ進出

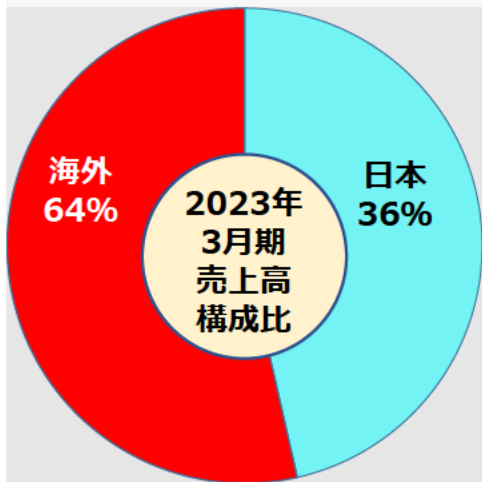
北米へ進出

新たなステージへ

9月	製造分野を中心とした請負事業を目的に株式会社テスコを設立	1985	
9月	商号を日本マニファクチャリングサービス株式会社に変更	1999	
7月	北京日華材創国際技術服務有限公司を設立	2000	10月 テクノブレン株式会社アウトソーシング事業部の営業権を譲受
10月	JASDAQ証券取引所へ上場（現東京証券取引所スタンダード市場）	2003	4月 中国北京市に北京オフィスを開設
7月	EMS企業の株式会社志摩電子工業を子会社化	2004	4月 日本人技術者派遣事業を開始
8月	NMS International Vietnam Company Limited 設立 （外資初の構内製造請負事業許可を取得）	2005	4月 日本人技術者派遣事業を開始
12月	北京中基衆合国際技術服務有限公司（現：中基縦合（上海） 人力資源服務有限公司（中基縦合））を設立 （外資初の中国国内労務派遣営業許可取得）	2007	7月 ベトナムホーチミン市に駐在員事務所を開設
3月	中基縦合が中国政府系人材サービス会社を子会社化	2008	7月 EMS企業の株式会社テーケイアール（現：TKR）を子会社化
10月	TKRが株式会社日立メディアエレクトロニクスより 電源・トランス事業等を譲受	2010	9月 中基縦合 無錫分公司を設立
3月	兼松株式会社と資本業務提携	2011	1月 中基縦合 深圳分公司を設立
1月	nms Vietnam Co., Ltd.設立	2012	7月 中基縦合が中国河南省政府系機関と業務提携
3月	カンボジア駐在員事務所設立	2013	5月 中国製造請負研究プロジェクトに参画
7月	ベトナム工場、製造受託開始	2014	8月 日本通運株式会社と業務提携
7月	nms(Thailand)Co., Ltd.がカンボジア現地企業と業務提携	2015	9月 nms(Thailand)Co., Ltd. を設立、派遣事業を開始
7月	TKR MANUFACTURING PHILIPPINES INC.設立	2016	10月 パワーサプライテクノロジー(株)発足、パナソニック株式会社から 一般電源事業を譲受し新たな体制で事業運営開始
1月	パワーサプライテクノロジー社 EV分野の製品開発・製造拠点 「松阪工場」を開設	2017	12月 カンボジア人材会社2社とタイへの派遣事業で業務提携
5月	TKR Manufacturing Vietnam Co., Ltd. を設立	<b>nms ホールディングス発足</b>	
6月	n m s ロジスティクス&テクニカルソリューション株式会社を設立	2018	7月 NMS Lao Sole Co., Ltd. 設立
10月	PT. NMS CONSULTING INDONESIA を設立	2019	8月 株式会社日本技能教育機構（JATEO）を設立
12月	TKR USA, Inc. を設立	2020	3月 TKR USAがソニー株式会社の米国法人Sony Electronics Inc.の 事業部門 Sony Service and Operations of Americasの 機能及び事業、並びにメキシコ生産拠点を譲受
1月	n m s エンジニアリング株式会社を設立	2021	4月 TKR de México S.A. de C.V. にて事業開始
3月	Power Supply Technology (Thailand)Co., Ltd.を設立		1月 Power Supply Technology (Hong Kong)Co., Limited にて事業開始
7月	Power Supply Technology (Hong Kong)Co., Limitedを設立		1月 TKRが株式会社テーケイアールマニファクチャリングジャパンを吸収合併
			1月 「株式会社テーケイアール」から「株式会社TKR」に商号変更
			4月 TKRにて「シェアリングビジネス事業」、事業譲受した「3Dプリンター事業」を立ち上げ

# (参考) nms HDグループの海外展開

各事業の特長を融合させ、新たな需要を獲得



## 中国・香港

HS EMS PS



北京日華材創国際技術服务有限公司 (日華材創)  
 中基総合 (上海) 人力资源服务有限公司 (中基総合)  
 無錫分公司 深圳分公司 上海第1分公司  
 東莞分公司 広州分公司 蘇州分公司

中宝華南電子 (東莞) 有限公司  
 中宝華南電子 (佛山) 有限公司  
 中宝華南電子 (佛山) 有限公司 深圳分公司  
 中宝華南電子 (佛山) 有限公司 蘇州分公司



TKR Hong Kong Limited  
 Power Supply Technology (Hong Kong) Co., Limited

## タイ・カンボジア・ラオス

HS PS



nms(Thailand) Co., Ltd.  
 Power Supply Technology (Thailand) Co., Ltd.



Representative office of nms (Thailand) Co., Ltd.



NMS Lao Sole Co., Ltd.

## ベトナム

HS EMS



NMS International Resources Co., Ltd.  
 nms Vietnam Co., Ltd.  
 TKR Manufacturing Vietnam Co., Ltd.

## アメリカ・メキシコ

EMS



TKR USA, Inc.



TKR de México S.A. de C.V.

## マレーシア

EMS



SHIMA Electronic Industry (Malaysia) Sdn. Bhd.  
 TKR Manufacturing (Malaysia) Sdn. Bhd.  
 TKR Precision (Malaysia) Sdn. Bhd.

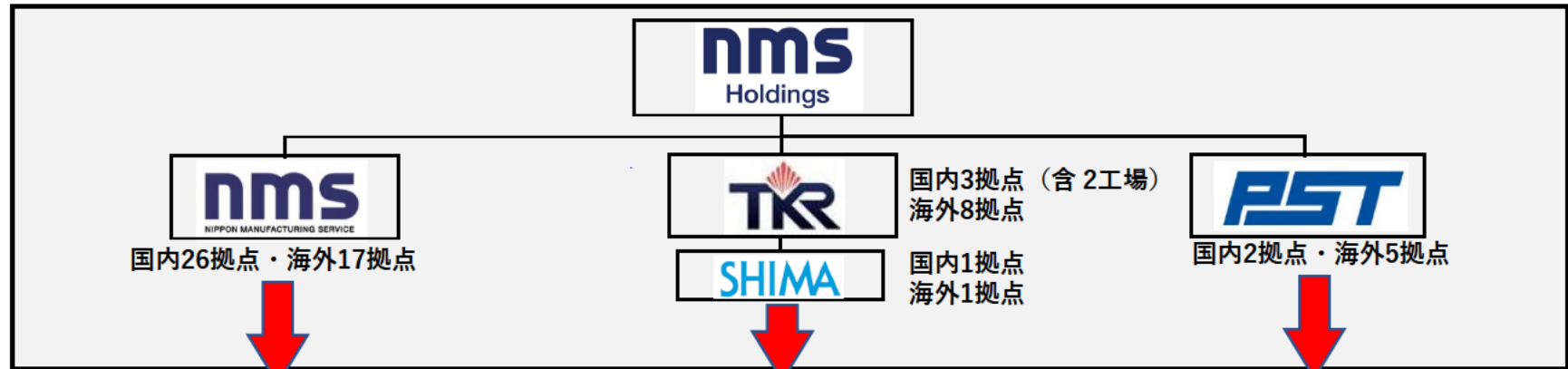
## インドネシア

HS



PT. NMS CONSULTING INDONESIA

# 「ニッポンのモノづくり品質を世界へ」。



## HS

### ヒューマンソリューション事業

製品、製造プロセス、生産現場を知り尽くした人材が日本やアジア各地域で活躍

**事業主体**

日本マニュファクチャリングサービス

## EMS

### エレクトロニクス マニュファクチャリングサービス事業

お客様の競争力強化に貢献する  
トータルソリューションを実現

**事業主体**

TKR  
志摩電子工業

## PS

### パワーサプライ事業

電源専門メーカーの技術力で  
ワンランク上のソリューションを提供

**事業主体**

パワーサプライテクノロジー

主なグループ会社

進出国・地域

主な事業内容

## ヒューマンソリューション事業 (HS事業)

### ・日本マニファクチャリングサービス株式会社

- ・nms エンジニアリング株式会社
- ・株式会社日本技能教育機構
- ・中基総合（上海）人力資源服務有限公司
- ・nms Vietnam Co., Ltd.
- ・nms (Thailand) Co., Ltd.
- ・PT. NMS CONSULTING INDONESIA
- ・NMS Lao Sole Co., Ltd. 他

日本  
中国  
ベトナム  
タイ  
ラオス  
インドネシア  
カンボジア

### 国内/海外におけるマニファクチャリングサービス全般

- ・製造事業（受託・請負・派遣・紹介）
- ・生産系エンジニアリング事業（受託・派遣・紹介）
- ・IT・設計開発エンジニアリング事業（受託・派遣・紹介）
- ・テクニカルサービス事業（各種リペア・リワーク・解析等/カスタマーサービス全般）
- ・ロジスティクスサービス事業（3PL/流通加工/派遣）
- ・外国人技能実習制度に関わる入国後教育研修の受託および実習生受け入れ先への業務支援

## エレクトロニクスマニファクチャリングサービス事業 (EMS事業)

### ・株式会社TKR

- ・中宝華南電子（東莞）有限公司
- ・TKR Manufacturing (Malaysia) Sdn. Bhd.
- ・TKR Precision (Malaysia) Sdn. Bhd.
- ・TKR Manufacturing Vietnam Co., Ltd.
- ・TKR USA, Inc.
- ・TKR de México S.A. de C.V.
- ・株式会社志摩電子工業 他

日本  
中国  
香港（中国）  
マレーシア  
ベトナム  
米国  
メキシコ

### ・電子機器製造受託サービス

- （基板実装、基板組立、簡易プレス、樹脂成型、組立等）
- ・電子機器修理サービス
- ・車載関連機器・部品の設計・開発・製造
- ・お客様とのシェアリングビジネス、これにかかる設計・開発・営業
- ・スタートアップソリューション事業
- ・3Dプリンター事業（設計および製造、販売、修理、保守）

## パワーサプライ事業 (PS事業)

### ・パワーサプライテクノロジー株式会社

- ・中宝華南電子（佛山）有限公司
- ・Power Supply Technology (Thailand) Co., Ltd.
- ・Power Supply Technology (Hong Kong) Co., Limited

日本  
中国  
香港（中国）  
タイ

### ・カスタム電源（スイッチング電源、高圧電源）の開発・設計・製造・販売

- ・マグネットロールの開発・設計・製造・販売
- ・各種トランス（スイッチングトランス、高圧トランス）の開発・設計・製造・販売
- ・電池マネジメントシステム関連製品の開発・設計・製造・販売

本資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に記載された業績予想や将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点での入手可能な情報に基づくものですが、実際の業績は、様々なリスクや不確定要素等により大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、本資料に記載された情報やデータ等につきまして、いかなる推奨・保証等するものではなく、発生したいかなる損害につきましても一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ  
nms ホールディングス株式会社  
広報・IR部 Tel:03-5333-1737  
E-mail: nms-ir@n-ms.co.jp

